



## ボランティア

ボランティア活動を始めたい、ボランティアを募集したい等の様々な相談を受け付けています。また個人、団体でのボランティア登録を受け付けており、登録された方には定期的にボランティアに関する情報をお届けしております。ボランティア活動に興味のある方はぜひご来館ください。



## NPO法人

NPO法人の設立・運営に関する相談や、各種提出書類の相談窓口を開設しています。特に、法人の設立及び定款変更の認証申請書類の作成に関しては、留意していただく事項が多いため、事前に申請書類の作成に関する質問、提出書類の確認をするなどの事前相談を実施しております。また法人の活動状況把握のための訪問や、要望に応じたの出前相談会も行っております。



## くまもと・わくわく基金 / その他助成金

「くまもと・わくわく基金」や「その他助成金」に関する相談を受け付けています。「くまもと・わくわく基金」から助成を受けるには、あらかじめ基金団体登録をしていただく必要があります。申請書や報告書など書類の書き方の説明や、団体の運営相談などを受け付けています。また、「その他助成金」に関しては、ホームページに情報を掲載し、窓口ではその他助成金に関する説明・紹介等を行っております。



## Let's go あいぽーと!

あいぽーとでのイベント情報をFM791のラジオで毎週月曜日朝8時40分より配信しています。「Let's go あいぽーと」を聴いてあいぽーと情報をゲットして遊びに来てください。

放送日 / 毎週月曜日 8:40~

※生放送のため、開始時間が前後する場合がございます

## あいりぽーと

毎月、あいぽーとスタッフが、熊本市内で活動されている団体取材し、FM791のラジオ番組「校区のチカラ」の中で取材報告をしています。

放送日 / 毎月第2金曜日 14:00~

詳細については、お気軽に下記までお問い合わせください。

熊本市市民活動支援センター・あいぽーと

TEL:096-366-0168 FAX:096-366-8830  
Mail:aiport\_kumamoto\_city@joy.ocn.ne.jp



ホームページは  
コチラから



## 守り継がれる まちの財産

～熊本市伝承絵巻～

特集

もくじ  
contents

特集 守り継がれる まちの財産～熊本市伝承絵巻～

- 守り継がれるまちの財産～熊本市伝承絵巻～ ..... 02
- 「まちの財産」を守り、未来のくまもとに伝えるべし! ..... 03
- 後継者問題! みなさんどうしてますか? ..... 05
- クローズアップ 人 ..... 01
- あいず ボランティアレポート ..... 06
- くまもと・わくわく基金レポート  
平成29年度 活動報告 ..... 08  
わくわく基金「その後の話」 ..... 10  
平成30年度 助成団体紹介 ..... 12  
ご協力のお礼と寄附者のご紹介 ..... 13
- アクティブNPO ..... 14
- 数字で見る“あいぽーと” ..... 16
- あいず川柳道場 ..... 17



●表紙について

「繋ぐ伝統、伝わる想い」

特集の取材に応じて頂いた「新町獅子保存会」より、例大祭当日の活動風景。保存会のメンバーとして所属するのは小学5年生からですが、本祭当日は近隣の園児など小さな子どもたちも勢子・唐人の衣装を纏って大勢参加します。この子達の中から、後の保存会メンバーとなる子どもも登場するかも? 伝統を繋ぐ活動は、一朝一夕では成りません!

# クローズアップ 人

聴くことは相手と  
向き合うこと。  
受け止めること。

平江 愛子

略歴

60歳を過ぎて始めたボランティア活動。その中で出会った「傾聴」は、彼女の家庭、人生に大きな影響を与えました。現在、各地での傾聴ボランティア活動をはじめ、傾聴講座の講師の他、田迎南地域は福祉協力員(高齢者サロンの手伝い等)として活動しています。

カウンセリングやコーチングの技術のひとつである「傾聴」をメインフィールドに、様々なボランティア活動に参加する平江さん。活動に対する思いを尋ねました。

——ボランティアを始めたきっかけは?

ボランティア活動を始めたきっかけは、「感謝の気持ちに気付けたこと」です。60歳を過ぎて、「これまでの自分の人生は?」「生きてきた軌跡は?残せたものは?」と振り返り、自問することがありました。これまでたくさんの人にお世話になり、助けていただいたことに気づき、ボランティア活動を始めようと決意しました。思い立ってすぐにあいぽーとに向かい、ボランティア情報を調べること。様々なボランティア活動に参加する中で『傾聴』に出会い、現在に至ります。

——傾聴とは?

人の話をただ聞くのではなく、より深く、丁寧に耳を傾けるのが「傾聴」です。自分の訊きたいことを訊くのではなく、相手が話したいこと、伝えたいことを「聴く」ための姿勢や技法を必要とします。それによって相手への理解を深めると同時に、相手も自分自身に対する理解を深め、納得のいく判断や結論に

到達できるようサポートするのが目的です。

——活動から得たものや、今後の目標について聞かせてください

まず、家族間のコミュニケーションが円滑になりました。途中で話を遮ってしまったり、否定したりすると…お互いに口数も減ってしまいますよね。コミュニケーションって、お互いに「なんでも話す・発信すること」って思っていたのですが、コソは聴くことだったんですよ。自分自身の気持ちのコントロールも、自然にできるようになれたと感じています。

今後は講師としてもレベルアップしていきたいと思っています。講師として講座に立つ中で、「伝えること」の難しさを日々実感します。どんな言葉を使ったら伝わるか、いつも考えています。参加者のみなさんは向上心をもって講座を受けに来られる方ばかりですので、たくさんのことを持ち帰って欲しいですね。

「聴く」ということは相手をしっかり受け止めること。これには自分自身の心の広さが必要なんです。そのためにも、私はまだまだ成長していかなければならないと思っています。

# 「まちの財産」を守り、未来のくまもとに伝えるべし!

それぞれの地域で受け継がれる大切な財産のこと、おしえてください!

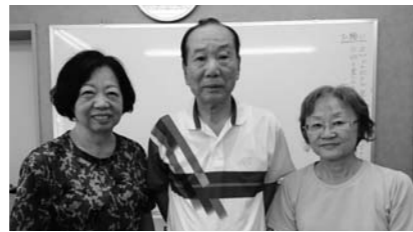
向山校区まちづくり委員会  
の中に発足した歴史文化研究会  
において、向山校区の歴史文  
化について1年間学びました。  
委員会が閉会したあと、メン  
バーのなかで「校区の歴史につ  
いて、地元の人々にもっと知って  
もらいたい!」との声が上がリ、  
平成26年にクラブとして発足  
しました。月1回程度の勉強会  
を中心に、平均年齢65歳、40名  
を超えるメンバーが活動してい  
ます。



田上さん

自分たちの住んでいる町の歴史を知ることで、町に対する愛着がわき、町をより身近に感じ、もっともっと好きになることができます!

## 私たちが守り継いでいます! 向山校区歴史文化クラブ



向山校区には放牛地藏、薩摩屋敷跡、竹崎茶堂が開いた先進的な私塾「日新堂」跡、日露戦争時代に謀報活動で活躍した石光真清の生家、世安神社など、知れば知るほど貴重な歴史・文化遺産がたくさん! これらの宝を後世に伝えることを目的に、皆で学びながら活動しています。

まちの宝!  
向山校区にまつわる  
「文化伝承や歴史的遺産」



伝統芸能や技法、神事、祭事、そして美しい自然!。悠久の時を超えて、ここ熊本市では有形無形の様々な「まちの財産」が守り継がれています。今回の特集では、そんな「まちの財産」を守る人々に焦点を当てました。  
地域の伝統を守るのは、市民活動の大きな柱のひとつ。それぞれの地域で歴史と伝統の継承に奮闘する守り人達の努力と、その活動を取材しました。

# 守り継がれるまちの財産

熊本市伝承絵巻

>今回取材に応じて頂いたのはコチラの6つの団体です。活動に興味を持った方や参加を希望する方はぜひお問合せを>

毎月第2土曜日の、4月〜9月  
は7時〜8時、10月〜3月は  
7時30分〜8時30分に江津湖  
公園周辺の美化活動を実施。昭  
和56年に画図校区自治協議会  
の中で誕生し、現在に至りま  
す。少しずつゴミが減っていく  
様子に成果を感じるとの  
声も。地域住民同士の交流や近  
況報告の場にもなっていて、「久  
しぶり!」「元気にしてた?」な  
どの挨拶も飛び交います。



多神田さん

「できる時に参加、決して無理せず」を合言葉に活動しています!。掃除用具はこちらで準備していますので、朝の散歩のついでに気軽に参加してみませんか?

## 私たちが守り継いでいます! 江津湖の自然と水を守る会



熊本市の中心部に位置する水辺として市民に愛され、憩いの場となっている江津湖。四季の風景も美しい遊歩道や、水遊びもできる大きな公園が存し、二年を通して家族連れなどで賑わう熊本市民のオアシスです。また、多くの水棲生物や野鳥が生息する場所としても知られ、多様な生き物の生態が観察できます。

まちの宝!  
熊本市のオアシス  
「江津湖」の美しい自然と水

## 上南部肥後神楽保存会

東区上南部の「奈我神社乙姫宮」に伝わる肥後神楽。古くから地元で愛され、毎年10月に開催される大祭では多くの参拝客で賑わう。



096-380-2224 (担当: 大津)

## 江津湖の自然と水を守る会

熊本市民のオアシス、江津湖の環境を守るため昭和56年に結成。毎月第二土曜日の早朝に江津湖周辺の清掃を行う。



090-6298-1145 (担当: 多神田)

## 向山校区歴史文化クラブ

向山校区にまつわる歴史・文化の継承を目的とした、超地域密着型の活動。月1回の勉強会や、ウォーキングを通じた歴史探訪などを実施。



向山校区まちづくり委員会  
096-322-4402 (向山地域コミュニティセンター)

親から子、子から孫へと世代を超えて地域の中で伝承されています。小学生から大人まで幅広い年齢のメンバーが在籍し、最高年齢は87歳! 地元の小中学生たちからは、「本格的な神楽を身近に感じることができると好評です。地域の皆さんが楽しみにしてくれている毎年の大祭は、私たちの二年間の大きな目標です。



大津さん

地元の皆さんの協力で地域の財産を絶やすことなく保存ができています。多くの方に興味を持っていただければ嬉しいです。

## 私たちが守り継いでいます! 上南部肥後神楽保存会



昭和50年に無形民俗文化財に認定された「上南部肥後神楽」。毎年10月25日、乙姫宮の大祭の夜に社殿で三座、櫛、二幣、二剣、剣弓、宝剣、双弓、神宣歌、四剣、四方拝、国津、地鎮の十二座が奉納されます。大祭前になると、笛や太鼓の音が響き、熱心な練習の様子が伝わります。敵かで力強い舞は地域住民の楽しみとなっています。

まちの宝!  
奈我神社乙姫宮に伝わる  
無形民俗文化財「上南部肥後神楽」

## 新町獅子保存会

藤崎八幡宮例大祭のスタートを飾る舞を奉納。新町以外の地域にも門戸を広げ、当日の行列に花を添える獅子・唐人の子ども達も毎年多数募集。



www.s-shishi.com

## 加勢川開発研究会

緑川・加勢川一帯で盛んだった伝統漁法を今に伝える。中無田閘門を利用したカヌー体験、着衣泳体験など河川で体験学習も行う。



080-1736-6488 (担当: 井村)

## 八景水谷公園愛護会

熊本名水百選にも選ばれ、市民の憩いの場となっている「八景水谷公園」。月1回の定期清掃に加え、地元小学校の総合学習などにも協力。



090-5284-0068 (担当: 桑本)

まちの宝！ 野鳥や多様な水棲生物を育む「八景水谷公園」の豊かな自然



北区清水地域に存在する、約7万㎡の水源。時の肥後藩主細川綱利公が建立した茶屋からの景観を詠んだ八句に由来し「八景水谷(はけのみや)」と呼ばれるようになりました。熊本名水百選にも選ばれ、春には桜の名所としても有名です。熊本市上下水道発祥の地としても知られています。

私たちが守り継いでいます！ 八景水谷公園愛護会

昭和54年に公園愛護会を結成し、「地域の宝は地域で守る」と、公園の美化活動や健全利用の推進を行っています。月1回の定期清掃に加え、年1回以上の除草・泥土除去作業、2年ごとの桜の植樹祭を実施。城北小学校の児童(3年生)を対象にした「八景水谷博士になる」という取り組みも続けています。公園愛護会(清老会)の中でも若い人を中心にプロジェクトチームを発足し、八景水谷の清流を取り戻す活動を進めています。



桑本さん

熊本市の豊かな湧水も、年々減少しています。この素晴らしい湧水やホタル、桜を守るためにも、ぜひ八景水谷公園に足を運んでください！

まちの宝！ 川を愛し川に生きる「肥後流投網合せ打」



「肥後流投網合せ打」は、緑川・加勢川一帯で盛んにおこなわれていた伝統漁法です。4〜6艘の和船で等間隔に魚を追い込みながら、船の先を合わせるようにして一斉に網を投げます。呼吸を合わせ、心をつなぐことが大切で、網が一斉に大きく花開く瞬間は魅力の一つです。江戸時代末期には関東にも伝わり、「細川流投網」の名で残っていると言われています。

私たちが守り継いでいます！ 加勢川開発研究会

平成元年より加勢川流域の環境保全活動を行っています。川の再生と伝統漁法の復活のため平成6年に団体を設立しました。中学生から70代まで、「川が好き！」という仲間が県内各地から集まっています。合わせ打ち練習はもちろん、川の水質保持のための清掃や、無田開門を利用したカヌー体験、着衣泳などの河川体験学習も行っています。



井村さん

川に親しむ中で、自然や環境に対して自ら考えることが重要です。喜びも苦勞も仲間と分かち合いながら活動しています。

まちの宝！ 年に一度の晴れ舞台！ 400年の歴史「新町獅子」



加藤清正公が熊本に入国し、熊本城を築城して以来400年余の歴史があるといわれている新町の獅子舞は、熊本市無形民俗文化財にも指定されています。藤崎八幡宮の例大祭では、百騎の随兵と長柄の武者の列に続き、年に一度、神前でしか舞わない「天拝」と、豪華絢爛な「牡丹の舞」を披露します。近年では、例大祭以外にも、内外各地の祝事やイベントなどにも出演しています。

私たちが守り継いでいます！ 新町獅子保存会

かつての藤崎八幡宮(現：藤崎台球場裏)の鳥居元として、新町に存在した「獅子連」が代々この獅子舞を受け継いできました。戦後には存続が危ぶまれましたが、昭和41年に「新町獅子保存会」として新たに発足。他地域の人々にも門戸を広げ、新町獅子の維持活動に努めています。「新小学校の児童を中心とした子ども達に加え、毎年総勢100名を超えるメンバーで例大祭に参加しています。



山本さん

みんなに観てもらって感動してもらえる。そんな喜びが根底にあるからこそどんな困難も乗り越えていきます。



後継者問題！ みなさん どうしてますか？

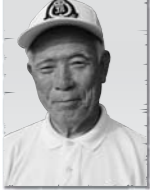
文化の伝承において、必要不可欠になるのが「後継者」の存在です。移り行く時代の中で、大切な地域の財産を守る担い手をどのように確保しているのか、それぞれの団体の取り組みや悩みをインタビューしました。

向山校区 歴史文化クラブ 野間口さん



私たちの会は平成26年に設立。研究・伝承している文化や遺産は歴史あるものばかりですが、会自体はまだまだ若いのです。とは言え、メンバーの平均年齢は約65歳。勉強会やウォーキングなど外に向けたイベントの開催を通じて、協力者、理解者を増やす努力を続けています。

江津湖の自然と 水を守る会 多田さん



校区内の住民はもちろん、画図小学校

上南部肥後 神楽保存会 永野さん



私たちの保存会は地域の中で親から子、孫へと後継者を確保しています。最近では、10代や20代の若い世代も保存会にたくさん在籍してもらっています。ですが、「保存会の活動は続けたいが、進学などで県外に出てしまいいかなか参加できない」という若い方がいるのが寂しくもあり、悩みでもあります。

新町獅子 保存会 山本さん



平成3年当時から、地元の小中学校と協力して、「新小の児童を対象とした子ども獅子舞の指導、参加呼びかけをずっと続けてきました。やっぱり地域との協力・連携というのは大切です。ですが最近の傾向として、夜の練習の音に近隣からの苦情が入ることもありま

八景水谷公園 愛護会 桑本さん



公園愛護会も高齢化が進み、後継者探しに苦労していますが、地域のまちづくりとも連携しながら、地域の皆さんに八景水谷公園の魅力について知ってもらう機会づくりに努力しています。

自然というまちの宝・財産を守るには、人の手に頼ることも大切ですが、自然との調和も大事です。まずは八景水谷公園に足を運んでいただき、その魅力を感じてほしいです。

加勢川 開発研究会 井村さん



「川遊びのプロ」として、「川遊びなら何でもできる」という人材を年代ごとに育てています。小さいころから川に触れての遊びを出発点として、それぞれが、その時のレベルに合った技術を教えて引き継いでいます。遊びが出発点と言っても、川なのでもちろん危険もあります。時には厳しい言葉をかけることもあります。それでも川で遊びたいと熱心に通った子どもたちが、現在もメンバーとして活動しています。川の楽しさ、豊かさ、変化や怖さも含めて、そのすべてが好きという熱意がないと継承はできません。

伝承についても、「合せ打」の技法だけを伝承することはできません。川に親しむ中で、水環境・自然環境に対して自ら考えることが重要です。同様に、何事も一人だけで向かっていけません。喜びも苦勞もみんな楽しんで、分け合ってください。真に文化を伝承していると言えるのではないのでしょうか？

大切なものを守るために、想いを伝えるために。「伝統の守り手」の皆さんへのインタビューでした。そんな皆さんの眼差しは、深い歴史を背負いつつも、しっかりと未来を見据えていました。伝統を受け継ぐために「一番大切なことは、守るべき「未来」について考えることなのかもしれないね。

## ■ ボランティアレポート②

### Let's Start ボランティア

ボランティア活動に興味がある小中学生・高校生を対象とした、あいぽーと主催の事業「Let's Start ボランティア」。今回は、夏休みにボランティアデビューをしたい子ども達に「手品ボランティア」に挑戦してもらいました。



入門編  
7/22

「ボランティアグループ笑顔のたまて箱」の石原さんの指導のもと、4つの「手品」を学んでもらいました。『手品の3原則』や『マジシャンの心得』に真剣に聞き入る子どもたち！



初めての手品でドキドキしながら手品の道具を触っていた子ども達でしたが、30分もしないうちにできるようになり、お互いに手品を見せ合っていました。最後までうまくできたときは、飛び切りの笑顔を見せてくれましたよ。今回、初めて会った子ども達も、終わる頃には自然に会話をして盛り上がっていました！

実践編  
8/11

いよいよ待ちに待った本番の日！石原さんが教えてくれた心得「1000回の練習より1回の本番」の言葉を胸に、会場となる塚原仮設住宅で実践しました。



「手品を披露することがどんなボランティアに繋がるんだろう？」と不安に思っていた子どもたちでしたが、いざ手品を披露すると、仮設の方たちからたくさんの笑顔と拍手をいただきました。みなさんと楽しい時間を過ごし、大成功に終わった初めてのボランティア。参加した子どもたちも嬉しそうでした！

# あいぽーとボランティアレポート

## eyes volunteer report

市民活動支援センター・あいぽーとでは、多くの市民のみなさんを巻き込んだボランティア活動をたくさん企画しています。今回は、年々参加者が増加し、中心市街地の一大ボランティア事業となっている「火の国まつり おてもやん総おどり翌日の街なか清掃」と、初めてのボランティアを応援する「Let's Start ボランティア」の2つをレポートします。

## ■ ボランティアレポート①

### 火の国まつり おてもやん総おどり翌日の 街なか清掃

8月4日(土)に実施された「火の国まつり・総おどり」。会場となった熊本市中心市街地のをキレイにすべく、翌日に「街なか清掃」を実施しました。事業実施をスタートした平成18年には50名程度だった参加者数も、年々増加し、参加定員が設けられるほどの人気事業に成長しました。今年は早朝とはいえ、例年になく暑さの中、303名(個人58名、団体22団体245名)の方々に参加いただきました。集まったゴミは45ℓサイズ30袋分になりました。



～参加者のみなさんのおかげで、熊本の街がますます「美しい街」になりました～



清掃しながらごみの分別も勉強になりました。(高校生の参加者より)  
家族で初めてするボランティアでした。清掃をしながら子どもたちに熊本の街並みなどを教えることができ楽しく参加できました。(家族での参加者より)  
毎年多くの方と触れ合いながら活動ができ、楽しく参加させていただいています。(参加団体より)

### ボランティアに参加した団体

今回ご参加いただいた22の団体です。(順不同) ありがとうございます！

- |                    |                       |                                 |                                |
|--------------------|-----------------------|---------------------------------|--------------------------------|
| ■ダイダイン株式会社 熊本支店    | ■株式会社 九州日立システムズ 中九州支店 | ■株式会社 日立物流九州                    | ■株式会社 熊本シイエフエム                 |
| ■株式会社 日立製作所        | ■株式会社 日立ハイテクフィールドイング  | ■KMバイオロジクス株式会社                  | ■熊本信愛女学院同窓会 薔薇会                |
| ■株式会社 SYSKEN       | ■旭電業 株式会社             | ■サンデン・リテールシステム 株式会社 九州支社南九州支店   | ■さわやかボランティアズ4班                 |
| ■株式会社 日立ビルシステム     | ■日立コンシューマ・マーケティング株式会社 | ■明治安田生命保険相互会社 熊本支社 熊本第一マーケット開発室 | ■火の国ダンスブラッシュ実行委員会2018          |
| ■日立キャピタルNBL株式会社    |                       |                                 | ■兵庫県立 社高等学校                    |
| ■日立キャピタルオートリース株式会社 |                       |                                 | ■熊本県立大学ボランティアサークル maple Leaves |
| ■日立トリプルウィン株式会社     |                       |                                 |                                |

熊本観光ボランティアガイド くまもとよかとこ案内人の会 | ステップアップ助成

助成事業名 外国人観光客向けガイド語学研修 助成金額 200,000円

外国語ガイドの質向上を目指してネイティブ・スピーカーを講師に招き語学研修を実施しました。英語2クラス、中国語2クラス、韓国語1クラスを設定し、合計59名の会員が各12回の研修に参加しました。熊本地震以降、外国人観光客からの問い合わせが増加し、今回の事業の成果として新たに外国語ガイド・通訳付き団体ガイドにチャレンジする例も出ています。より外国人観光客にやさしい街づくりに効果をもたらすものと期待されます。



特定非営利活動法人 優里の会 | ステップアップ助成

助成事業名 里親制度の普及啓発と支援を強化するための事業 助成金額 190,000円

里親制度の普及啓発を目的として講演会を開催。本年度は福祉の専門家として働きながら養育里親として里子を養育中の講師と、実子である里姉に「里親になって見えてきたこと」について講演いただきました。同じ里親、支援する側、制度に興味がある参加者へ向けて、「里親の気持ち」を伝えるための講演となりました。区民祭り・パネル展などにおいて、広く市民に里親制度を理解してもらえるような広報啓発活動を行いました。



NPO法人 身近な犯罪被害者を支援する会 | ステップアップ助成

助成事業名 犯罪被害者等への理解と被害に遭われた方々への相談窓口の周知対策 助成金額 144,000円

犯罪被害者への支援の必要性と制度について市民の関心と理解を深める為、公開シンポジウムを実施しました。一部では犯罪被害者遺族の想いについての講話、二部では被害者遺族、検事、警察、弁護士、司法書士、支援担当者等を交えて、被害者支援の必要性と内容、より良い支援の在り方について、わかりやすい言葉で意見交換。遺族の苦悩と実情についての理解と支援の大切さ、支援制度等についての理解を深め、パンフレットを配布し相談窓口の周知対策を図りました。



NPO法人 スポレク・エイト | ステップアップ助成

助成事業名 ロコトレ健康教室で健康長生き 助成金額 80,000円

「西部地域の交流を深め、健康でいきがいのある街づくり」の理念の下、「ロコトレ健康体操」等の様々な福祉レクリエーションで楽しみました。高齢者にも無理なくできる「ウェーブストレッチング」を使ったストレッチなどの体幹トレーニングを取り入れ、継続して通って頂き健康増進につなげることができました。認知症予防、転倒防止、脳トレの効果、また体幹トレーニングにより姿勢改善、腰痛、肩こり改善等の効果があり元気な笑顔と医療費の削減にもつながりました。



ことう文庫の将来を考える会 | スタートアップ助成

助成事業名 ことう文庫を「もっと身近に、みんなの居場所に」する事業 助成金額 100,000円

ことう文庫における、子どもたちや多世代にわたる地域住民とのコミュニティづくり事業を行った。本屋では容易に手に取れない、公営の図書館では容易に探せない、子どもにとって生きる力となる本当に良い本を選定・発信しました。今年1年間の事業で利用者数・貸出冊数が増え、リピーターの親子も増加。少しずつ、ことう文庫が地域の子どもの居場所として認知され、地域住民のコミュニティづくりの場として機能しはじめました。



Wish happiness | スタートアップ助成

助成事業名 子供服無償提供活動 助成金額 70,764円

サイズアウトした子ども服を集めサイズごとに仕分け、梱包を行い、ひとり親世帯や震災後経済的に困っている家庭を対象に無償提供を実施しました。LINE、twitter、FacebookなどのSNSを使って活動を広め、孤立しがちなひとり親に対して幅を持った支援を行いました。子ども服の支援活動がきっかけとなって、衣類以外の物資提供や育児に関する悩み相談など、有益な情報提供も行うことができました。支援した子ども達は延べ716人(2017年9月現在)となりました。



田原坂観光ボランティアガイドの会 | スタートアップ助成

助成事業名 激戦地田原坂の歴史遺産を通して、ガイド技術の向上を図る 助成金額 100,000円

田原坂周辺の遺跡に学び、ガイドのスキルを高めるための資料集め、研修を実施。田原坂資料館内外10地区のマニュアル作成や、定例会を開き問題点の洗い出しと解決を図りました。当事業を通してガイドのスキルが向上し、来訪者に田原坂の戦いの経緯、意義をわかりやすくガイドできるようになりました。田原坂の認知度向上と来訪者の増加による地域観光に貢献しました。また他地域のガイド団体との交流も始まり、広域にわたる観光事業に貢献できる可能性が生まれました。



NPO法人 福ねこ舎 | スタートアップ助成

助成事業名 福ねこ舎 文化事業(コンサート、展示、朗読、講演、出版) 助成金額 100,000円

コンサート、落語、朗読会、展示会、茶道、詩の勉強会などの内容を充実させたことで、障がい者、高齢者をはじめ地域住民の楽しみ場として充実しつつあります。また、独居老人の交流の場、障害者も子どもも安心して集える場所としても、少しずつ認知され、訪れ憩う地域住民が増えました。また、地域の文化発信の一拠点としての地域住民からの期待にも応えています。



熊本市市民公益活動支援基金 くまもと・わくわく基金  
平成29年度 助成事業の成果レポート

平成29年度熊本市市民公益活動支援基金「くまもと・わくわく基金」は以下の14団体14事業に助成を行い、よりよい熊本市を目指し、熊本独自の地域課題につながる事業が実施されました。

・ステップアップ助成……………10事業 助成決定総額 1,298,859円  
・スタートアップ助成事業……………4事業 助成決定総額 370,764円

うえき自然塾 | ステップアップ助成

助成事業名 里山での親子自然体験活動 助成金額 140,000円

近隣の自然豊かな里山を活動の場とし、子どもたちにたくましく生きる力を育てたいという想いでボランティア仲間とともに、季節に応じた様々な自然体験活動を年間通して実施しました。活動においては、食べる・作る・遊ぶを毎回意識して活動内容を工夫し、振り返りの時間や発表の場も設定。子どもたちの懸命に頑張る姿や達成感、それを嬉しそうに支援する親の姿が多くみられ、保護者同士の情報交換なども行われました。また、地域の活性化にも効果がみられます。



NPO法人 くまもとオカリナの会 | ステップアップ助成

助成事業名 熊本地震復興支援「第2回 くまもとオカリナッセ」 助成金額 80,000円

「第2回くまもとオカリナッセ」では、総勢16名の海外ゲストに加え、わが国を代表する世界的オカリナ演奏者大沢聡氏をスペシャルゲストに招き、100名を超える湘南、名古屋、広島など国内外のオカリナ愛好者による演奏会を実施しました。熊本におけるオカリナの普及促進に寄与するとともに、熊本地震から力強く復興する姿を広く内外にアピールすることができました。



NPO法人 熊本高齢社会活性化研究センター | ステップアップ助成

助成事業名 高齢者のための介護講座 助成金額 105,667円

熊本機能病院の各分野のスタッフ(医師、看護師、セラピスト、ケースワーカー等)の協力により、1日2コマ(1コマ80分)の講義・実習・見学等を組み合わせた体系的なプログラムによる全9回の講座を実施しました。今回の講座の受講者は24名で、シルバー人材センターに登録の高齢者も含まれます。地域における在宅高齢者への介護力の向上にも期待が持たれます。



NPO法人 ディスカバリーくまもと | ステップアップ助成

助成事業名 次世代観光人財育成出前講座(英語でボランティアガイド養成講座) 助成金額 80,000円

水前寺公園の地元となる校区の小中学校の児童・生徒25名を対象に、水前寺成就園と参道の店を英語でガイドするための講座を実施(7~9月/計6回)。発表会では保護者、外国人ゲスト、取材マスコミを前に、殆どの生徒がテキストを見ずに案内することができました。アンケート調査でも「素晴らしかった」「来年も実施して欲しい」等の意見を多数いただきました。地域活性化にも大いに効果があり、将来大人になった生徒たちは、故郷に誇りをもって発信することになると思います。



特定非営利活動法人 教育支援プロジェクト・マスターズ熊本 | ステップアップ助成

助成事業名 地元の小中学校への教育活動支援事業 助成金額 139,192円

会員それぞれが居住する地域の小中学校に Outreach、「マルつけ支援」や「見守り・寄り添い支援」など学校から要望のあった活動を行いました。支援活動を行なった学校からは感謝と喜びの声をたくさんいただきました。助成金をいただいたことにより活動の輪を広げることができ、会員の社会貢献活動意欲を高めることもできました。また、児童・生徒の学力向上・健全育成を支援し、先生方の負担軽減に資することができたと思います。



特定非営利活動法人 熊本技術士の会 | ステップアップ助成

助成事業名 坪井川遊水地の減災対策に資する有効利活用事業 助成金額 140,000円

坪井川遊水地の減災対策に資する有効利活用のため、芝生面積を拡大整備して、さらなる利活用を推進。芝張作業は、地域ボランティアも多数参加いただきました。また、遊水地の利活用を募集する一環として、ウォーキング大会の開催を支援し、一般市民にチラシ配布等の事前広報を実施。遊水池の説明を行い、有効利活用の啓発と今後の維持管理や活用の方向を検討するためのアンケートも実施しました。遊水地が坪井川の洪水減災施設であることへの理解を促す効果がみられました。



# くまもと・わくわく基金 その後の話

くまもと・わくわく基金の助成を受けた団体が、その後どのような発展を見せたのかを追跡するこのコーナー。今回取材する団体は、平成25年、26年に連続で助成を受けた「くまもと歯っぴーかむカムひごまる協議会」。独自に考案した口と機能の発達を促す運動『ペロタッチ』の広がりを目指しました。

くまもと  
歯っぴーかむカム  
ひごまる協議会

目的に賛同したNPO、企業、ボランティア団体、歯科、医療関係者、大学関係者によって設立。口の健康づくりを基盤として、参加型ゲームや健康に役立つ情報の発信などイベントも行う。

## どんな事業？

平成25年度 『生きる喜びに繋がる口の機能の発達を促す「ペロタッチ」の普及事業』  
平成26年度 『高齢者にもペロタッチ～口腔機能を維持して誤嚥と認知機能の低下を防ぐ～』  
同団体が考案した口の機能の発達・維持を目的にしたエクササイズ『ペロタッチ』を普及・推進する事業を展開

## 副会長 吉良 直子さん

平成20年(2008)4月に設立、同10月に活動を始めました。団体名は「ハッピー＝幸せ」から「歯で噛んで幸せになろう」という願い、「噛む」と「カム(come)」で「幸せが来る」と、様々な意味を込めて決めました。長いけど、結構かわいい名前でしょ？



いま、熊本中に広がりつつある「ペロタッチ」とは？

私達くまもと歯っぴーかむカムひごまる協議会が考案した、口の中を刺激して発達を促すエクササイズ(運動)です。基本のやり方は、歯みがきのときに歯ブラシを使って舌の先や両サイドを3〜4回ずつ、優しくタッチします。他にも口角をを広げたり、歯みがきの後で舌をぐるりと動かしたりして、舌・唇・口腔内を刺激します。

Q ペロタッチ発祥の経緯は？

最初は障がいを持つ子のお母さんたちへの支援から始まった活動でした。日々の訓練やリハビリに疲れてしまったり、歯磨きを毎日完璧にやることは難しいけれど、舌の先と両サイド、3カ所のペロタッチなら簡単にできる！ということに注目されました。主に小さな子どもと高齢者を対象に、多くの実績があります。

現在では、障がいがあったり、機能が衰えている人たちの間で広がっています。脊髄反射を利用したトレーニングなどで、知的障がいがある人にもできるし、認知症の予防にも繋がります。副作用もなく、誰にでも簡単にできるので、風邪や高齢者の誤嚥の予防、発語が遅い子へのフォ

## 1日3回！たった9秒で出来る健康法！！ 歯磨きの後はペロタッチ♪

歯ブラシでそのまま  
ちよん ちよん ちよん



ローとしても期待されています。

Q 2年連続でわくわく基金の助成を受け、何か変化はありましたか？

スタート当初、周りからの逆風も強く心が折れそうになった時期もありました。そんな時に会ったわくわく基金に、精神的な面でも支えられました。平成25年の助成では、「ペロタッチ」を認知してもらうための研修や地域活動を、26年の助成では、「ペロタッチソング」のCDなどの普及のためのアイテムを作りました。

ペロタッチソングに合わせて、転倒防止や誤嚥防止に繋がるような体操や踊りを作ったり、「ペロタッチキャンディ」なんかも作りましたよ。研修や普及活動が続けるうちに、内容も充実して賛同者も増え、会への問い合わせも急増しました。今では、少しずつですが熊本市外や県外、学会でも認められてきたように感じます。

Q ペロタッチが支持される秘密は？

「ペロタッチ」がたくさんの人に支持された一番の理由は、「何かしてあげたい」と思う周りの人と、「喋りたい」と思う患者さんを繋ぐツールになるからではない

かと思っています。そのためか、患者さんご家族からの喜びの声もたくさんいただいています。

ご主人が舌癌の手術をしたあと、普通食が食べられず、お話もできない…。介護は大したことではないけど、ご主人と会話ができなくなったのが辛いと聞かれていた奥様がいました。1年間、毎日ペロタッチを続けるところ、普通食も、会話もできるようになったそうです。

もちろん、手術前と同じようには動かないし、奥さんとご主人の2人にしか聞き取れない会話かもしれませんが、それでもそんな風に気持ちを通じ合うためのツールになっているのはやっぱり嬉しいですね。

Q 設立から10年。これからの展望は？

10年前は、「ペロの力」や口の機能についてまだまだ注目されていませんでした。今では一緒に活動したいと言ってくれる30代、40代の方も増えてきています。今後は各施設への展開を考えていて、4〜5人ほどリーダーとして活動できる人材を育てています。

また、「ペロタッチ」と一緒に、「最後まで普通食を」という運動を始めていこうと思っ



ています。人間の体はエゴにできていて、脳が「必要ないと判断した機能はどんどん衰えてしまいます。例えば、ナジを使うと道を覚えなくなる、おむつをする排泄を我慢する機能が衰える、などなど。いま、子ども達のおむつが外れるのが遅くなったのも、

「ペロタッチっていったい誰が考えたんですか？」と聞くと、にっこり笑って自分を指さす吉良さん。とっても前向きな歯医者さんです。本文中で紹介したペロタッチソングやキャンディの他にも、「口の健口かるた」、「ストローゲーム」、「ペロタッチ体操」、「ペロタッチ音頭」、「歯っぴーかむカムひごまる弁当」など数々のグッズや企画を開発してきた「くまもと歯っぴーかむカムひごまる協議会」(長い！)これからも目が離せませんね！

おむつが快適だからかもしれません。同じことが「食」にも言えて、目で見て、鼻で嗅いで食べるが必要なんです。私たちが食事をするときも、「これはどれくらい強さで噛みなさい」「これは酸っぱいから唾液を出しなさい」「このくらい細くならたら飲み込みなさい」など、脳は様々なサインを出しています。ところが、ずっと流動食を続けていると、そのサインがいらなくなるなり、いつ飲み込んでいいのか分からなくなります。これも誤嚥につながるのです。いま、海外そして日本でも、流動食をやる、時間はかかっても普通食を続けていこうという運動が広まりつつあり、熊本でもこの運動を拡大していきたいと思えます。過剰なサービス、過剰なケアを見直していくと、本人も元気になる、発達する、おまけに医療費も下がるのではないのでしょうか。不自由が私たちを発達させてきたのですから。

# 熊本市市民公益活動支援基金 くまもと・わくわく基金



## 「くまもと・わくわく基金」へのご協力に感謝し、心より御礼申し上げます。

熊本市民の皆さま、法人・団体等の皆さまからのご寄附は、平成30年7月10日現在、20,846,282円となっております。ご協力に厚く御礼申し上げます。  
今号では、平成30年1月11日から平成30年7月10日の間に寄附をいただきました皆さまへ感謝の意を込め、以下にご芳名を掲載させていただきます。皆さまのさらなるご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

### 【冠寄附】

- 東京エレクトロン九州株式会社 様 ..... 1,000,000円
- 公益社団法人 熊本法人会 様 ..... 4,000,000円

※冠寄附とは一定金額以上の寄附をいただいたもので、当該寄附に基づく助成事業の名称(冠基金名称)を希望できます。

今回、冠基金名称は、東京エレクトロン九州様が「東京エレクトロン・マッチングギフト」、公益社団法人熊本法人会様が「公益社団法人熊本法人会ファンド」となりました。

### 【一般寄附】

- 株式会社 熊本シティエフエム 様 ..... 4,860円
- 株式会社 熊本市リサイクル事業センター 様 ..... 7,876円
- 株式会社 パースト24 様 ..... 54,596円
- 株式会社 宮食 様 ..... 3,097円
- 河野 宏始 様 ..... 5,000円
- 鈴木 雅夫 様 ..... 10,000円

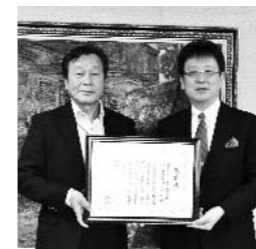
### 《ご要望により寄附額非公開の方》

- NPO法人 スポレク・エイト 様
- 株式会社 お菓子の香梅 様
- 株式会社 石翔 様
- 株式会社 オー・エス収集センター 様
- 熊本新明産業 株式会社 様
- ※その他、掲載を希望されなかった方 1名

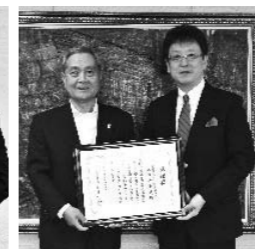
## 熊本市長の感謝状贈呈式

この1年間で「くまもと・わくわく基金」への寄附者(10万円以上)と新たな寄附金付自動販売機提供事業者の方に対して、平成30年6月13日(水)に大西一史熊本市長より感謝状が贈呈されました。

寄附者への感謝状贈呈



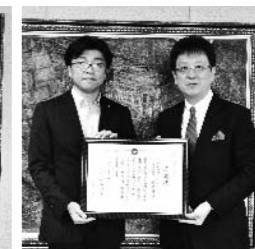
東京エレクトロン九州 株式会社 様



公益社団法人 熊本法人会 様



株式会社 パースト24 様



株式会社 サンワイヤーテック 様



伊藤園 株式会社 様

寄附金付自動販売機提供事業者への感謝状贈呈

## 寄附をお考えの方

「くまもと・わくわく基金」への寄附は、地域活動推進課窓口へ直接寄附金をお持ちいただく方法と、事前に必要事項を記入した「寄附申出書」を地域活動推進課へ送っていただき、その後返送された「納付書」をもって金融機関にて寄附金をご入金いただく方法があります。他にも熊本市役所庁舎1階に募金箱を設置しております。寄附額に制限はありませんが、2,000円以上ですと、地方公共団体に対する寄附として「ふるさと納税」扱いとなり、税制上の優遇措置を受けることができます。また、「くまもと・わくわく基金」への寄附は、ふるさと納税ポータルサイト「ふるさとチョイス」でもお申込みできます。寄附のお申し込みやお問い合わせは、お気軽にあいぼーとまでご連絡ください。

あいぼーと TEL: 096-366-0168  
ホームページ [http://www.kumamoto-aiport.com/kumamoto\\_wakuwaku/](http://www.kumamoto-aiport.com/kumamoto_wakuwaku/)

## 熊本市市民公益活動支援基金 くまもと・わくわく基金

平成30年度助成事業には、22事業のご応募をいただき、15事業への助成が決定しました。

- ・ステップアップ助成事業 ..... 10事業
- ・スタートアップ助成事業 ..... 5事業

### ステップアップ助成事業

#### 特定非営利活動法人 優里の会

助成事業名  
里親制度の普及啓発と支援を強化するための事業

里親制度の普及啓発を目的として、「里親への支援には何が必要か」を参加者と共に考える講演会を開催。区民祭り・はあもにい・ショッピングセンター等でも広報啓発活動を実施します。

### ステップアップ助成事業

#### うえき自然塾

助成事業名  
里山での親子自然体験活動

毎月1回の季節に応じた野外体験活動をスタッフの指導の下で行います。自然の中で体を動かし、遊びながらたくましさや優しさを培うことを目指し、四季折々の活動を設定しています。

### ステップアップ助成事業

#### ことう文庫の 将来を考える会

助成事業名  
ことう文庫の本がみんなの居場所です

昨年一年間で利用者、貸出冊数が増加。本年度は子どもの心に寄り添い、生きる力を育む本を中心に置いた事業を行います。本の紹介データベース作成や発信、また多世代交流事業等も実施します。

### スタートアップ助成事業

#### オープンハウス “KATARO”

助成事業名  
地域の高齢者(特に孤独な高齢者)の元気づくり、生きがいづくり活動

高齢者を対象に、お茶を飲みながらのおしゃべり会を月に3回実施予定。仮設住宅の人たちにも積極的に参加を呼びかけています。同活動のノウハウの出張指導なども計画しています。

### スタートアップ助成事業

#### 特定非営利活動法人 健康生活応援くまもとプロジェクト

助成事業名  
健康寿命の延伸を支える健康生活応援講座「ワクワくまもと健康塾」

健康づくりのためbody・mind・spiritといった心身の健康バランスを総合的に保持・増進させることを重視し、医療・介護・認知症・ヨガ・食を組み合わせた講座をシリーズで開催します。

### スタートアップ助成事業

#### NPO法人 熊本県 難聴者中途失聴者協会

助成事業名  
難聴者・中途失聴者のコミュニケーション力、社会参加力向上のための講座

手話に加え、文字や音声による保障も含めた難聴者・中途失聴者の情報取得方法及びコミュニケーション力の向上、自己認知、社会参加のための講座を開催します。

### スタートアップ助成事業

#### NPO法人 ガット

助成事業名  
熊本市立小・中学校の学校図書館リニューアル事業

熊本市内の小・中学校の図書館リニューアルに向けて希望校を募り、計画提案と作業補助を実施。リニューアル後には改善のポイントや効果的な活用法等についての学習会も実施します。

### スタートアップ助成事業

#### 熊本転入ママの会 くまてん

助成事業名  
転入ママウェルカム会

熊本が転入ママを歓迎する気持ちを表すウェルカム会を実施。ママ達が地元感覚で過ごせるよう配慮します。全国規模の口コミにより拡散することで、熊本の良さを県外へアピールします。

### ステップアップ助成事業

#### 熊本観光ボランティアガイド くまもとよかとこ案内人の会

助成事業名  
外国人観光客向けガイド語学研修

外国人観光客増加に臨み、熊本城や水前寺成趣園など多くの見どころをスマートに説明することを目指し、従来の会員同士の研修に加え外部講師を迎えた高度な研修を継続的に実施。

### ステップアップ助成事業

#### NPO法人 消費者 支援ネットくまもと

助成事業名  
消費者シンポジウム「地域で見守ろう!みんなで防ごう消費者被害」

商品の取引方法の変化により複雑・多様化する消費者トラブルを防ぎ、消費者被害の予防・撲滅に取り組みます。行政、警察、消費者団体、専門家、福祉団体等によるシンポジウムを実施。

### ステップアップ助成事業

#### NPO法人 ディスカバリー くまもと

助成事業名  
熊本城を訪れる外国人を英語でガイドする為の次世代講座

水前寺成趣園内にて国内外の観光客に対して常駐ガイドを設置しています。平成30年度は熊本市内の高校生を対象に、復興中の熊本城の「英語でガイド養成講座」を定期的に行います。

### ステップアップ助成事業

#### 特定非営利活動法人 教育支援プロジェクト・マスターズ熊本

助成事業名  
地元の小中学校への教育活動支援事業

地域の小中学校に出向き、要望のあった支援活動を行っています。増加傾向にある特別に支援の必要な子どもへの見守り・寄り添い支援など、細かく迅速で柔軟な支援を促進していきます。

### ステップアップ助成事業

#### NPO法人 くまもとオカリナの会

助成事業名  
熊本地震復興支援「第3回くまもとオカリナフェス」

オカリナの普及活動と熊本地震からの復興を支援し、内外にアピール。第3回となる今回は世界で活躍する大沢聡氏を招聘することで、国内外に向けて熊本の文化と復興をアピールします。

### ステップアップ助成事業

#### 熊本の 大気汚染を考える会

助成事業名  
熊本の大気汚染測定運動を通して郷土の環境保全を図る活動

大気汚染を考える活動として、1. 全国一斉大気汚染測定に参加 2. 測定への参加を呼びかけ関心を持つ市民を増やす 3. 講演会や環境フェアを通じて環境問題に取り組む場の提供を実施。

### ステップアップ助成事業

#### NPO法人 身近な 犯罪被害者を支援する会

助成事業名  
犯罪被害者等への理解と被害に遭われた方への相談窓口の周知対策

犯罪被害に遭い、悩み苦しんでいる方へ向けて支援制度・相談窓口の周知を実施します。また広く市民に向けた被害者等支援制度の認知啓発、支援活動への参加促進活動を行います。





# アクティブNPO

今回紹介するアクティブなNPOは、国の史跡で西南戦争の古戦場でもある田原坂とその周辺地域の歴史的遺産を研究しながら地域の観光振興のために活動する「田原坂観光ボランティアガイドの会」です。「西郷どん」ブームにも乗って、田原坂西南戦争資料館以外での活躍の場も広がるガイドの会のみなさん。会長の中尾さんと会員の小宮さんにお話を伺いました。



違ったのか？」と考えるきっかけになると  
思いますし、私たちガイドの責務だと考え  
ています。

## 西南戦争

「西南戦争」または「西南の役」。1877年  
に現在の熊本県・宮崎県・大分県・鹿児島県  
において西郷隆盛を盟主にして起こった土族  
による武力反乱です。明治初期に起こった一  
連の土族反乱の中でも最大規模のもので、熊  
本県内のほぼ全域が戦場となり、熊本城の炎  
上、田原坂の激闘がよく知られています。日  
本国内で最後の内戦でもあります。

## 鹿児島から年間4千人の来場者 一方、地元熊本からは…

特に鹿児島県からの来館者が多く、修  
学旅行・社会科見学で年間約4千人もの



児童・生徒の皆さんが来られます。激戦の  
跡地を案内するとともに、戦争の悲惨さ  
や、戦争を避けるためにはどうしたらよ  
いのか投げかけ、平和教育の一助にしたい  
と願っています。帰られた来館者の方からお  
手紙をいただくこともあるのですが、嬉し  
いものです。その一方で、熊本県内・熊本  
市内からの来館者はまだまだ少ないのが  
残念ですね。

## 幻の「空中かちあい弾(だま)」

お客様からの感想・ご要望の中に、「空中  
かちあい弾」の展示がないことへの不満が  
挙げられます。西南戦争の激しさを物語る  
証拠として関東や関西でも有名でしたが、  
残念ながら現在この資料館には展示され  
ていません。以前はガイド書にも掲載され  
ていたこともあり、「せっかく遠方から見  
来たのに」と嘆くお客様も…。鹿児島県の

# ここは歴史の分かれ道 越すに越されぬ田原坂

## 植木町に恩返しを！

かつてわが町にあった「植木町観光協  
会」と「植木町観光ガイドの会」が平成27  
年の3月に解散しました。「町の発展のた  
めにはこのままじゃいけない」と、4名の  
観光ガイドが中心となって、翌月には「田  
原坂観光ボランティアガイドの会」として  
発足しました。定年退職後に、お世話に  
なった町に何か恩返しをしたいという趣旨  
で集まったメンバーを加え、現在14名で活  
動。同じく平成27年にオープンした「熊本  
市田原坂西南戦争資料館」や田原坂公園  
のガイドを中心に、西南戦争にまつわる歴  
史の案内人を務めています。

今年は、NHK大河ドラマ「西郷どん」の  
効果もあり、資料館入館者数も例年の1  
50%を超えています。昨年私達のご案内  
した来場者も1万人を超え、ガイドの数も  
不足している状態です。

資料館では展示されているのですが、ここ  
田原坂でお見せ出来ないのが残念でたま  
りません。

## 空中かちあい弾

発砲された小銃弾どうしが空中で衝突し、  
二つの鉛の弾頭がめり込んでひとつになっ  
てしまったり、変形してしまっただけです。あ  
りそうもない偶然の産物ですが、ここ田原坂  
では何組も発見されています。銃火による  
戦場があまりにも壮絶で、それほどの密度  
で銃弾が田原坂の空を飛び交ったことを物  
語る貴重な遺品です。

## これからの田原坂

「西郷どん」の効果もあり、昨今は九州  
全体でいろんな面で活性化できていると思  
います。「西南戦争」をキーワードにした  
ネットワークの交流も始まりつつあります  
ね。今年の10月から来年3月まで期間限定

## 熊本市田原坂西南戦争資料館

2015年にオープンした、西南戦争に関する  
歴史学習施設です。戦いに至る経緯や時代  
背景・17昼夜にわたる激戦の様子などを、資  
料とともに体感しながら学びぶことができ  
ます。西南戦争ガイドブック「年刊 田原坂」  
(無料配布)もとても面白く好評です！

所在地：熊本市北区植木町豊岡858-1  
TEL：096-27214982  
利用可能時間：9時～17時(入館16時30分まで)

## 田原坂は歴史の分かれ道

日本が近代国家になる大きな転換点と  
なったのが明治維新です。時代が進み富国  
強兵に向け進むにつれ、日清戦争、日露戦  
争、そして太平洋戦争と戦乱の道を歩むこ  
とになります。西南戦争は明治政府にな  
って初めて起こった戦争です。そういう  
意味で、この西南戦争について知ること  
は、日本が近代国家の進む道をどこで開

の観光ルートとして、羽田から飛行機で熊  
本に来て1泊、この田原坂を経由して鹿児  
島に行くという企画も実施されるん  
です。

県のボランティアガイドの連絡協議会  
にも参加しましたが、各地域で盛んに活動  
されている様子を知ってとても刺激になっ  
ています。益城町や玉東町、人吉市に天草  
エリア、鹿児島県の出水市からも交流のお  
話があり、今後どんな展開ができるか楽し  
みです。

心配ごととしては、私たちガイドの会が  
高齢化していることが挙げられます。熊本  
県内・市内の方々にもしっかり足を運んでもら  
えれば、解決の糸口のひとつになるかと思  
いますので、皆さんぜひお越しくださいな

## 取材後記

小学校の頃に資料館を訪れた時に見  
て歴史に興味がなくても衝撃を受け  
た「空中かちあい弾」。50年ぶりに訪  
ねた今回は展示されておらず残念で  
したが、それでも近代的な資料館の  
すばらしさにびつくり(300円では安  
すぎます！)。ガイドのお二人からも  
面白い話をたくさん聞かせていた

きました。激しい戦いの様子が目に浮  
かぶ合戦の話から霊にまつわる話ま  
で、どんな質問にも臨機応変に話が  
できるというお二人に脱帽しました。  
皆さんもぜひ、足を運んで、資料館を  
見て、ガイドの方にお話を聞いてみて  
下さい。

大発見 ほんとは自分の 忘れ物 (中央区 上田正幸)

行動も 声をあげるのも ボランティア (東区 そば)

老いた目に 見えないものが 見えてくる (西区 フェリックス)

あいぽーとで 発見生きがい ボランティア (南区 緒方幸江)

恐ろしい 子供は親の マネをする (西区 杉山やすし)

ほんの一步 踏み出すだけで 大発見 (中央区 マル)

ボランティア 友情を 再発見 (西区 村崎文昶)

夏休み 新発見の 遊び道 (東区 肥後亨)

忘れもの ハイハイする孫 発見す (中央区 フィッシャーマン)

碁敵と 向き合うほどに よさ発見 (中央区 今村尤雪)

# あいぞ川柳道場

今回のお題「発見」 毎回力作揃いのあいぞ川柳道場。今回のお題は「発見」です。みなさんの身近にある「発見」や人生における「発見」を川柳に込めていただきました。

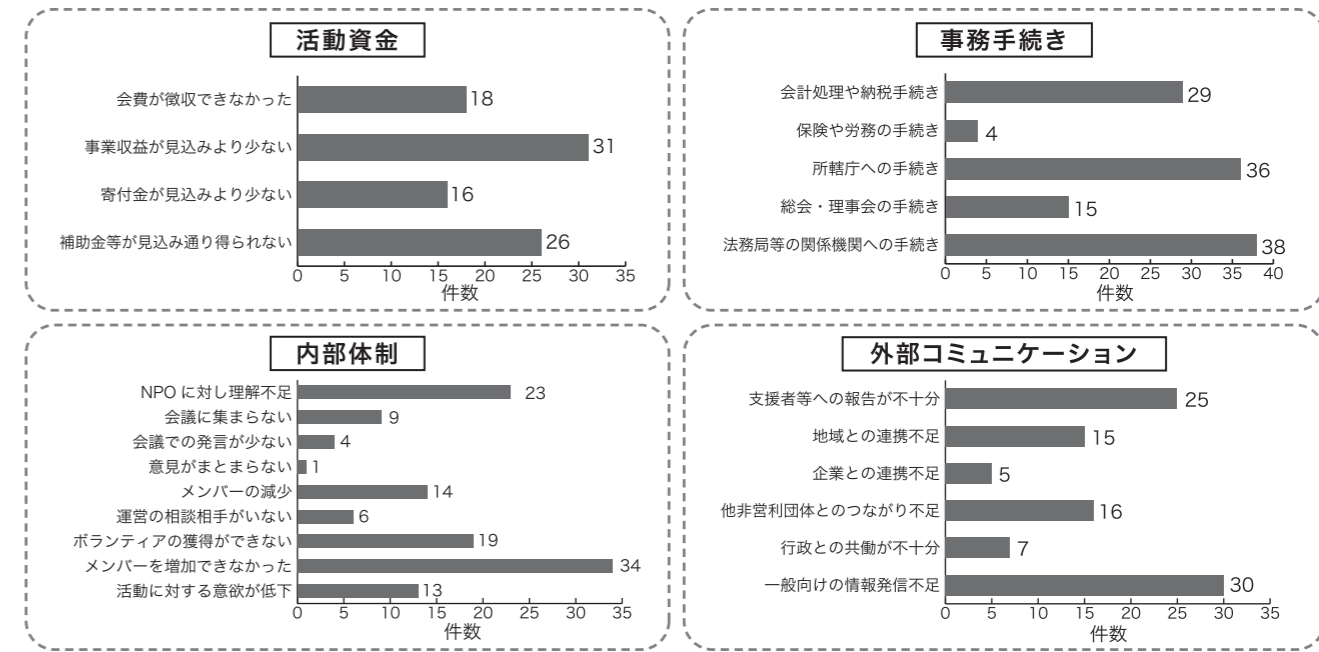
次号のお題は、1月にあいぽーと窓口にて発表致します。詳しくはあいぽーとまで。

# 数字で見る“あいぽーと”

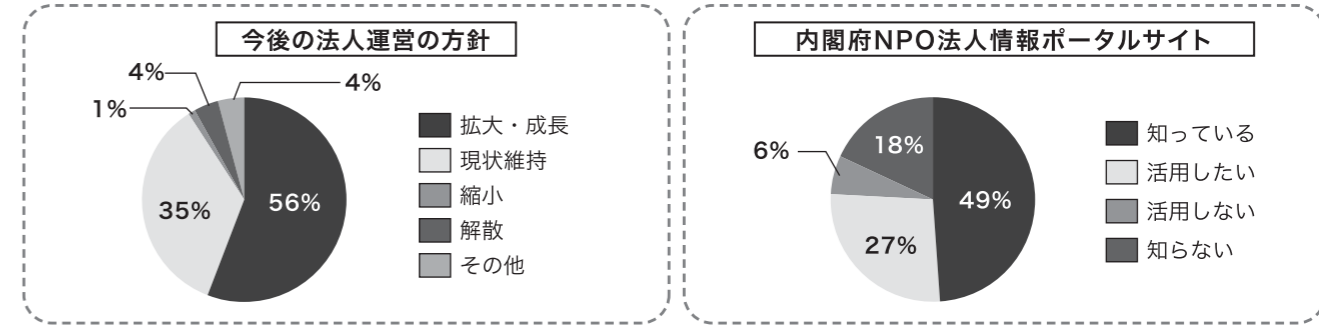
今回は、熊本市所轄のNPO法人の現状を把握し、今後のあいぽーと事業に反映する目的で実施した「NPO法人ニーズ調査」をもとに、NPO法人の困りごと(課題)や今後の運営方針などについて数字でみてみました。

回答数：(98法人/304法人)平成30年7月24日現在

【NPO法人の困りごと】(複数回答あり)  
 活動資金、事務手続き、内部体制、外部コミュニケーションについて、過去1年間に実際にあった法人運営の困りごと(課題)について尋ねました。各項目では事業収益の少なさ、関係機関への手続き、メンバーの確保、情報発信不足がそれぞれ一番多い困りごととなっており、これらを踏まえて、あいぽーとでの今後の事業などの企画・運営に繋がりたいと考えています。



【今後の法人運営の方針と内閣府NPO法人情報ポータルサイト】  
 今後3年間の法人運営の方針と内閣府NPO法人情報ポータルサイトの認知度合について尋ねました。今後の運営方針は、約9割が拡大成長及び現状維持を考慮しており、ポータルサイトは約8割近くの法人が認識し活用を考えられています。



【地域連携などの取り組み】  
 NPO法人の活動として地域との連携などの取り組み状況をお尋ねしました。すでに約7割以上の法人が何らかの形で実際に地域連携に取り組んでいるという結果でした。

